

平成 30 年度

施政方針

竹 富 町

目 次

1	はじめに	1
2	町政運営、施策の基本的な考え方	2
3	ふるさとづくりの基本目標について	2
4	基本政策	
(1)	安全・安心で快適に暮らすふるさとづくり	3
(2)	幸せな暮らしを共に支えるふるさとづくり	4
(3)	島人を育て心を育むふるさとづくり	5
(4)	環境を守り自然と調和したふるさとづくり	5
(5)	活力あふれ飛躍するふるさとづくり	6
(6)	個性と魅力がキラリと輝くふるさとづくり	6
(7)	参画と協働による町民が主役のふるさとづくり	7
5	結びに	7
	平成 30 年度竹富町一般会計予算案並びに特別会計予算案	9
	ふるさとづくりの基本政策に基づく主な施策	10

平成30年竹富町議会3月定例会の開会に当たり、私の町政運営に対する、基本的な方針を申し上げ、町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

1 はじめに

私が、町政の舵取り役を担わせていただいてから、早いもので2年目を迎えます。

町政運営を行っていく上で、急激な社会情勢の変化に伴い、行政運営が厳しさを増しているこの時期に町政を預かる者として、責任の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。

本町には、世界に誇る豊かな自然環境や伝統文化があります。それは、先人が日々の生活の中で自然環境との調和を保ちながら築き上げたもので、何物にも代え難い貴重な財産です。また、本町は、東西約42km、南北40kmの広範囲に点在する16の島々からなり、日本の排他的経済水域に寄与するなど、地理的にも特徴のある町です。

今年の7月2日、竹富町は町制施行70周年の大きな節目を迎えます。

この佳節を町民の皆様と共に慶び、先人が築き上げた功績に感謝し、未来への、更なる飛躍の年としたいと考えております。

今回の30年度予算は、町制施行70周年、北海道斜里町との姉妹町盟約45周年の節目に当たることから、各種記念事業を盛り込んだ予算編成となっており、常に自らの責任で先頭に立ち「決める行政、決める政治」を信念に全身全霊を捧げて町政運営に取り組む決意です。

議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2 町政運営、施策の基本的な考え方

私は町長に就任以来、町政運営のモットーである「決める行政・決める政治」を掲げ、多くの目標や政策をスピード感を持って実行できるよう、大胆な発想のもとで、役場の組織機構改革を行い各課題解決に向け、取り組んでまいりました。

社会情勢は依然として厳しい状況にありますが、本町の産業振興、超高齢社会への対応、子育て世代への支援等、島々における均衡ある諸施策を展開し、「全ての町民が安心・安全で快適に暮らせる町づくり」「心豊かでいきいきと暮らすふるさとづくり」に向け邁進する所存でございます。

竹富町制70年を基礎・土台とした、これからの竹富町づくりに向けての新たな一步の年であり、これまで培ってきた経験や知識、発想を更に飛躍させ、魅力ある町づくりに向け、新しい発想による事業やイベントを展開しようと計画しております。

3 ふるさとづくりの基本目標について

基本目標の第一は、「住民の利便性確保と行政サービスの維持」であります。

町民の声、公民館単位の要望、多様な地域の課題に柔軟に対応するための内部組織を再編し、新たな組織体制のもと、質の高い行政サービスの提供に向け取り組んでまいりました。

行政サービスの拠点となる役場本庁舎の整備については、「住民の利便性確保・行政サービスの維持」を最優先に考え、石垣支所建設に向け取り組んでまいります。また、今後の財政リスクを洗い出し、島々の抱える課題や、庁舎整備に係る諸課題と真っ向から向き合い、役場移転に向けた骨組みを立て、全ての情報を開示し、議会と協調のもとにその解決に向けて全

力を尽くしてまいります。

第二は、「協働と協調のふるさとづくり」であります。

協働によるふるさとづくりの取組を進めるとともに、広域的視点を大切に、国、県はもちろんのこと、関連自治体などとの協調や機能分担、補完を行うことによって、その成果を分かち合い、町民がいきいきとすこやかに暮らすことのできるふるさとづくりを推進します。

第三は、「持続型社会の実現に向けたふるさとづくり」であります。

竹富町には、世界に誇る類いまれな自然環境や伝統文化、日本最南端の町として位置する地理的条件など、数多くの特徴や長所を有しています。このような宝を財産として認識するとともに、率先してその魅力を発揮し、将来にわたる生活の基盤となる環境の保全と経済発展が両立できるような持続型社会の実現に取り組んでまいります。

第四は、「愛着と誇りを共有できるふるさとづくり」であります。

島々や地域が主体となった課題解決や身近な地域づくりを、わかりやすく構築し、地域の力によってその魅力や個性を引き出すとともに、島々や地域の歴史や文化が多様な竹富町の魅力をより大きく育てることによって、町民が愛着と誇りを共有できるまちづくりを進めてまいります。

これまで、申しあげました町政運営や施策の基本的な考え方、ふるさとづくりの基本目標に基づき、平成30年度の基本政策につきまして、その大要をご説明申し上げます。

4 基本政策

(1) 安全・安心で快適に暮らすふるさとづくり

昨年度は、全ての町民が、安全で安心して生活できる取り組みを進めてまいりました。今後とも関係機関、団体との連携を密にしながら、地

域防災力の強化、交通安全対策や犯罪防止に努めてまいります。また、安全で快適な道路空間が図られるよう、各地域からの要望等も踏まえ計画的な町道整備を推進し、地域ごとの特性や課題に応じて、町営住宅の整備や住宅リフォームの支援を実施し、竹富町の島々らしい魅力ある道路や住宅・居住環境の提供に努めてまいります。

水道事業については、西表東部第1区配水管の経年劣化による漏水が発生しておりますが、水道水の安定供給を行うために配水管更新に係る調査設計業務を実施し、工事着手に向けて取り組んでまいります。

下水道・農業集落排水事業については、下水・排水処理による環境保全と衛生的な生活環境の維持に向け、新たな経営戦力を立てるとともに、竹富浄化センターの機械設備等の更新に係る実施設計業務に取り組みます。

(2) 幸せな暮らしを共に支えるふるさとづくり

町民が住み慣れた地域で、自立と尊厳を大切にし、生涯にわたりいきいきとすこやかに暮らせるように、「お年寄りを大切にできる地域づくり」に取り組み、安心を保障する持続型の地域福祉と経済的負担の軽減を図るため、移動交通費の負担軽減、生活の利便性向上、定住促進に努めてまいります。

健康増進、高齢者福祉、障がい福祉等については、全ての町民が、地域でいつまでも自立した生活を送ることができるよう、関係機関との連携を密にし、保健、医療、福祉、社会保障制度などのセーフティネットを維持し、安心な暮らしを保障してまいります。

(3) 島人を育て心を育むふるさとづくり

島々での子育てを地域社会で支えるため、安心して出産や子育てができるよう、引き続き経済的負担軽減に向けて、移動交通費や宿泊費等の支援策、環境整備に取り組んでまいります。

児童生徒の心身の健全な発育に資するとともに、安全・安心で快適な教育環境づくりを推進し、小中併置校の特性を活かした小中連携・一貫教育に取り組んでまいります。また、幼児・児童生徒一人一人の可能性を伸ばし、未来を切り拓く資質・能力の育成を図るため、ICT教育の推進、外国語能力や異文化理解能力の育成、家庭学習支援、スポーツ等各種大会への派遣費を支援し、併せて社会教育・生涯学習等の機会充実に取り組んでまいります。

今年度からは、鳩間島留学制度が始まることから、鳩間小中学校に留学を希望する児童生徒の受入れを行い、心身ともに健康な児童生徒の育成を図り、併せて学校や地域の活性化に取り組んでまいります。

(4) 環境を守り自然と調和したふるさとづくり

自然環境の保全と地域の環境美化等については、島民と自然との「共生」を考えながら関係機関や地域と連携し、自然環境・生物多様性の保全、希少な野生生物の保護、生活環境・公衆衛生の向上及び地域の環境美化等に取り組んでまいります。また、西表島を含む「奄美大島、徳之島、沖縄島北部」の世界自然遺産登録に向け、人と希少野生生物との共存共栄、観光客の増加による諸課題の解決にも取り組んでまいります。さらに、排他的経済水域に寄与する有人国境離島としての役割を果たすべく、海洋環境の保全と利活用を行うなど、海洋施策に取り組んでまいります。

(5) 活力あふれ飛躍するふるさとづくり

島々の交通体系を構築するため、海上、航空交通網の整備を推進し、町内交通の円滑化と利便性向上に取り組んでまいります。

商工業については、関係団体と連携し、伝統工芸技術の伝承や特産品の販売促進に取り組んでまいります。

基幹産業である、さとうきび、水稻、パイナップル、マンゴー、肉用牛、その他の農林水産業については、今後も安定した産業基盤づくりを支援し、地域資源を活用した新たな産業や付加価値の高いブランドの創出に向けて取り組んでまいります。また、各種事業を活用しながら新規就農者の確保及び担い手の育成に取り組んでまいります。

(6) 個性と魅力がキラリと輝くふるさとづくり

今年度は、町制施行 70 周年、北海道斜里町との姉妹町盟約 45 周年の節目を迎えます。先人の築き上げた功績に感謝し、各種記念事業・交流事業に取り組んでまいります。愛着と誇りを持てるまちづくりを目指して、島々の伝統文化や芸能の振興、地域資源を活用した新しい魅力を創造し、イメージの向上を図ってまいります。

また、超高速ブロードバンドの環境整備による教育と医療の充実に併せ、地域住民の利便性向上や産業等の活性化、ICT を活用した就業創出と竹富町地域おこし協力隊の活用による移住・定住促進に取り組んでまいります。

さらに、観光振興計画を基に、石垣市、与那国町と連携し、本町を含む八重山地域への観光客の誘致等に取り組んでまいります。

(7) 参画と協働による町民が主役のふるさとづくり

価値観の変化やニーズの多様化に対応し、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現に向けて、新たな自治の仕組みをつくり、地域課題の解決や新たな公共サービス提供のための環境を整備し、町民と行政の協働によるふるさとづくりを推進してまいります。

財政の健全化と安定した財政基盤の確立に向けて、経費の削減、沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）事業や有効な起債事業等の活用、各種基金の有効な運用に取り組んでまいります。また、今後予定される公共施設等の整備や更新については PPP や PFI といった公民連携の活用も視野に入れながら、係る経費の財政負担の平準化に取り組んでまいります。

自主財源の確保については、国税・県税・近隣自治体との連携を強化するとともに、課税客体を的確に把握し、滞納繰越額縮減と納税手続きの利便性に努め、収納率の向上を図ってまいります。併せて、ふるさと納税を推進してまいります。

5 結びに

以上、平成 30 年度の町政運営に対する基本的な考え方と基本政策について、その概要をご説明申し上げました。

これまでの説明をもとに予算編成した結果、一般会計では、前年度当初比 10.4%減の 68 億 2,536 万円としました。また、特別会計では、前年度当初比 45.5%減の 13 億 9,000 万 9 千円としたところです。

一般会計と特別会計を合わせた予算案の総額としましては、前年度当初比 19.2%減の 82 億 1,536 万 9 千円としました。

それぞれの予算案の総額と主な施策については、後掲のとおりでございます。

具体的な内容については、予算審議をとおしてご説明申し上げることとしておりますので、何卒、ご理解を賜りたいと存じます。

町民の皆様並びに議員各位おかれましては、なお一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、平成30年度に臨む施政方針といたします。

平成30年3月2日

竹富町長 西大舛 高旬

平成 30 年度竹富町一般会計予算案並びに特別会計予算案

一 般 会 計 予 算	6,825,360千円
国民健康保険事業特別会計予算	597,263千円
介護保険事業特別会計予算	414,078千円
後期高齢者医療特別会計予算	34,287千円
水道事業特別会計予算	293,827千円
下水道事業特別会計予算	36,145千円
農業集落排水事業特別会計予算	14,409千円
総 額	8,215,369千円

ふるさとづくりの基本政策に基づく主な施策

① 安全・安心で快適に暮らすふるさとづくり

- 交通安全・防災対策（交通安全意識の啓発活動の推進、強化）
- 消防・防災対策（防災危機管理体制の強化、救急患者搬送業務）
- 干立地区防災機能改善事業
- 竹富町救急患者輸送車両導入事業（大原診療所）
- 消防車車庫施設整備事業（鳩間消防分団）
- 小型動力ポンプ付軽消防自動車導入事業（舟浮消防分団）
- 津波避難困難地域対策検討調査業務（由布島）
- 竹富町住宅リフォーム支援の推進
- 農業集落排水・下水道の経営戦略の作成
- 竹富浄化センター水処理施設機械設備等更新工事
- 景観保全業務
- 港湾利活用実態調査
- 西表東部公園整備事業（継続）
- 加屋真島観光関連事業
- 町営住宅整備事業（白浜第二団地4号棟）
- 町道荒原線道路改良工事（継続）
- 町道竹富9号線外道路整備事業
- 西表浦内観光関連事業
- 西表東部第1区水管更新調査設計業務

② 幸せな暮らしを共に支えるふるさとづくり

健康増進事業（各種がん検診、健康教育・相談、食生活改善等）

難病等患者支援（渡航費及び宿泊費の助成）

国民健康保険事業（保健指導、保険税の適正賦課及び収納対策）

後期高齢者医療事業（疾病、負傷等に関する給付金の支給）

介護保険事業（地域包括ケアシステムの実現に向けた取組、介護予防
推進事業、ふれあいサロン事業）

高齢者福祉事業（渡航費の助成、お出かけサポート事業）

障がい福祉事業（渡航費及び宿泊費の一部助成）

竹富町民等船賃負担軽減事業

③ 島人を育て心を育むふるさとづくり

妊産婦支援事業（渡航費、宿泊費、航空運賃等の助成）

乳幼児健康診査事業（赤ちゃんの発育・栄養状態の確認、先天性疾病
の早期発見、予防接種事業等）

母子保健事業（両親学級、乳幼児相談、離乳食・幼児食実習等）

こども医療費助成事業（こども医療費及び渡航運賃等の助成、こども
医療費貸付制度の推進）

児童福祉事業（複合型福祉施設整備事業）

波照間中学校校舎改築工事

波照間小学校単独調理場改築工事

波照間小学校食堂改築工事

学力向上推進事業

図書館教育の充実

竹富町児童生徒の心と体を育む支援事業

外国語指導助手派遣事業

家庭学習支援モデル事業

学校 ICT 支援員派遣事業

ホームステイ事業

鳩間島留学制度事業

社会教育・体育・生涯学習の充実

④ 環境を守り自然と調和したふるさとづくり

沿岸域の総合的管理に関する共同研究事業の推進

竹富町一般廃棄物処理事業

生活環境の保全対策（清掃点検、そ族昆虫駆除の実施）

コンポスト水栓取付工事

不法投棄対策・海岸漂着物対策

地球温暖化対策の推進

竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護事業

外来種駆除事業

有害鳥獣駆除事業

世界自然遺産登録の推進

デイゴヒメコバチ防除事業

⑤ 活力あふれ飛躍するふるさとづくり

沖縄県超高速ブロードバンド環境整備促進事業

竹富町 IT 就業移住促進事業

離島航路確保維持改善事業費等補助金

竹富町織物事業後継者育成事業

さとうきび生産事業（植付・収穫機械化の促進、沖縄製糖業体制強化
支援事業）

もちきび生産事業（担い手農家の確保、販売の促進）

水稲生産事業（農作物共済加入の促進、「ミルキーサマー」の普及拡大）

パイナップル、マンゴー、かぼちゃ、ばれいしょ等生産事業

（各種事業を活用した生産支援、優良種苗の普及促進、栽培講習会の
実施、ブランド化の推進）

農産物集出荷場整備に向けた取り組み

産地水産業強化支援事業の推進

畜産事業（家畜伝染病予防対策事業、優良母牛導入事業、畜産担い手
育成総合整備事業）

竹富町における新たな産業創出調査

県営かんがい排水事業（上原1期地区）（継続）

県営農地整備事業経営体育成型（与那良原地区）（継続）

県営水質保全対策事業耕土流出防止型（小浜地区）（継続）

団体営農地保全整備事業（波照間西地区）（継続）

農業水利施設保全合理化学業（波照間地区）（継続）

人・農地問題解決加速化支援事業（農地の集積・集約化）

新規就農者の確保及び担い手の育成（農業次世代人材投資事業、新規
就農一貫支援事業）

赤土流出防止対策の推進

⑥ 個性と魅力がキラリと輝くふるさとづくり

沖縄 Free Wi-Fi 統合環境整備事業

竹富町観光誘客・受入対策事業

（宣伝誘客活動、受入体制整備、観光人材育成、星空保護区関連事業）

竹富町地域おこし協力隊の活用

重要伝統的建造物群保存修理事業

竹富町古謡発表会開催補助

文化財美化保全事業

竹富町デンサ節大会

竹富町史編集事業（第十一巻資料編 新聞集成Ⅶ、竹富町史だより）

⑦ 参画と協働による町民が主役のふるさとづくり

公共施設等総合管理計画に基づく公共施設整備の推進

頑張る地域応援プロジェクト

竹富町役場石垣支所整備及び役場移転の推進

自主財源の確保

（徴税職員併任人事協定に基づく滞納整理、徴収率向上、悪質な滞納者に対する公売やタイヤロックなどの実施、口座振替及びコンビニ収納等の推進、竹富町ふるさと納税制度の推進）

竹富町制施行 70 周年記念事業

竹富町制施行 70 周年記念式典・祝賀会

竹富町蝶ツマベニチョウ生息普及促進事業

竹富町海洋シンポジウム

沖縄県竹富町 島々の民俗芸能

竹富町南ぬ島々探検交流プロジェクト

